

前回に引き続き、ちょっとおもしろい小物たちをご紹介します。ひとひねりしたアイデアでなるほどと思わせるものに会おうと嬉しくなってしまうが、今回の小物たちは読者諸兄のお気に召すだろうか。

Remote Point

Remote Pointは、インターリンク株が発売する、赤外線方式のワイヤレスマウスである。赤外線受光部と発光部から構成されており、受光部はPCのCOMポートに接続するようになっている。

発光部は単四乾電池2個を電源とし、感圧式パッドを使用している。

日本では株式会社ビッグサイエンスが発売しており、日本語マニュアル、保証書が付属している。秋葉原のV-CLUB(注1)で1万5800円で購入した。

商品構成は、以下のとおりである(写真1)。

- ・ Remote Point本体(赤外線発光部)
- ・ 赤外線受光部
- ・ シリアル9ピン-PS/26ピン変換ケーブル



写真1 Remote Pointの商品構成

- ・ VersaPointドライバディスク
- ・ 単四乾電池2個

Remote Point本体(赤外線発光部)には、感圧パッドのほかにマウスボタンが2個付いている。右ボタンに相当するものは発光部の上面に付いており、左ボタンは発光部下に位置している。

発光部を手を持って親指の腹で感圧式パッドを操作し、人差し指でマウスの左クリックボタンを押す構造になっている(写真2)。

マウスドライバとしては、添付のFDにDOS用のドライバが格納されているが、既存のマウスドライバをそ

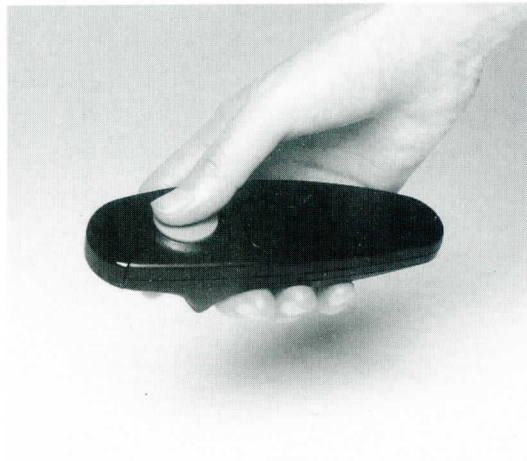


写真2 Remote Pointの発光部

注1)秋葉原のV-CLUB

秋葉原のSONYサービスステーションの隣の熊谷ビル3階にあるPC/AT互換機ショップ。近くには、コムサテライトや鈴商があるといえ、大体の位置はわかりになるだろう。

ときどきジャンク扱いで掘り出し物があり、先日行ったときには、ORCHIDのCELSIUS VLB1 MB (IIT AGX015チップ使用のVL-Busビデオカード)の新品が、処分品扱いで3500円で売られていたので、思わず購入してしまった。

なお、Remote Pointは、PC/AT版のほかにMac版もある。パッケージがほとんど同じなので、間違っ購入しないよう注意が必要だ。

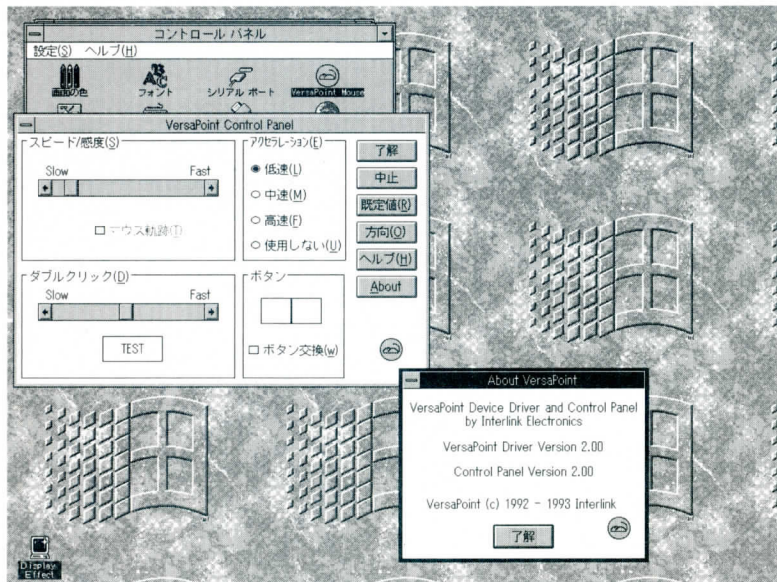


写真3 Windows上のVersaPoint Control Panelの設定画面

のまま使用することも可能である。

したがって、いままで使用してきたマウスを取り外して、そのままRemote Pointを接続しても、問題なく使うことができる。

Windowsで使用する場合には、VersaPointと呼ばれるドライバを用いると、移動のスピード、ダブルクリックの間隔を調整することが可能となる。

Windows上でVersaPointをインストールすると、コントロールパネルのなかに、VersaPoint Mouseのアイコンができる。

これをクリックすると、Versa Point Control Panelが開く。このなかでは、スピード/感度の設定、ダブルクリック間隔の設定、アクセラレーション機能の設定、ボタンの交換の設定などが行える(写真3)。

実際にWindows上で使用してみたが、感度が良いため、スピード/感度の調整を、かなりSlow側に設定する必要があった。

また、感圧式パッドは通常のマウスと比較して、細かい位置調整がどうしてもむずかしくなってしまう。

受光部の感度はかなり良く、2~3m離れてもまったく問題なく使用できた。また、発光部と受光部との角度にも自由度があり、途中で障害物さえなければかなり広範囲の角度に渡って受信することが可能であった。

感圧式パッドの操作性という点では、若干慣れが必要と思われるが、Power Pointなどのプレゼンテーション用ツールを使用する際は、便利なグッズであるといえそう。

NCL480-Notebook Computer Light

NCL480-Notebook Computer Lightは、バックライトがないノートパソコンに取り付けて、LCD画面とキーボードを照明するグッズだ。ニューヨークにある



写真4 NCL480-Notebook Computer Lightの商品構成

ASF ASSOCIATES LTD.から39.95ドルで購入した(注2)。

NCL480の商品構成は、以下のとおりである(写真4)。

- ・ランプユニット
- ・バッテリーユニット
- ・ニッカドバッテリー4本(GP850mAh AA NiCdバッテリー)
- ・充電用ACアダプタ
- ・ソフトケース
- ・予備電球2個(Ektronバルブ)
- ・マニュアル

この製品は、ノートパソコンへの取り付け機構が非常にユニークだ。ランプユニットとバッテリーユニットとがスライドできるようになっており、ノートパソコンの液晶パネル上部にNCL480を設置し、ランプとバッテリーの両ユニットで挟み込んで固定する。

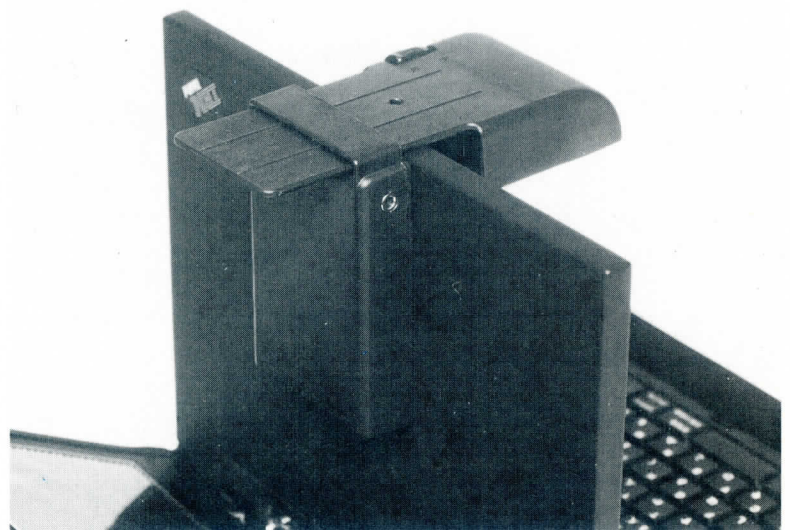


写真5 NCL480をノートパソコンに取り付けたときの側面

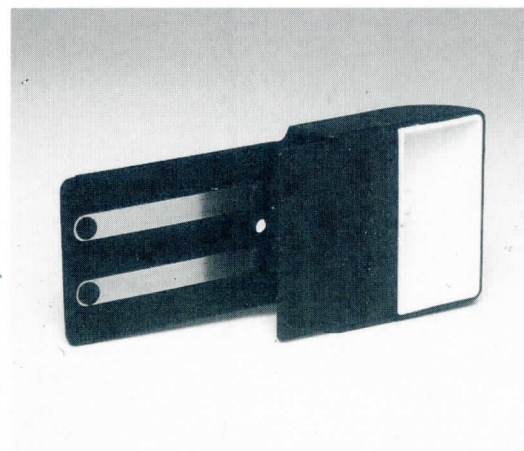


写真6 NCL480スライド部分のむき出しの電極

波多利朗の
Funky Goods

注2)ASF ASSOCIATES LTD.

以下に連絡先を示す。
ASF ASSOCIATES LTD.
Box625, Merrick, NY
11566, USA
FAX: 1-516-868-6897
Internet Mail:
ASF1@eWorld.Com

ちなみに、経営者の名前は、Arthur S.Friedman氏となっており、おそらく社名は氏の頭文字を取ったものと思われる。

2つのユニットは自由にスライドできるようになっているため、液晶パネルの厚さに関係なく取り付けることが可能だ(写真5)。

このスライド部分は、電極がむき出しという大胆な構造になっている(写真6)。

バッテリーユニットの内部には、予備の電球を格納するスペースまで設けられており、細かいところまで気を遣っている。マニュアルによると、NiCdバッテリーは、6時間充電して2時間使用することができるそうだ。

実際にThinkPad220に取り付けて使ってみたが、バ



写真7 NCL480をTP-220に取り付けたところ。かなり安定している



写真8 NCL480をME-386に取り付けたところ。キーボードにばかり光が当たって、ディスプレイには当たらないというまぬけなことになってしまふ

ッテリーパックとランプユニットとによる取り付けは、かなりしっかりしており、ぐらつくことはない(写真7)。

ただし、液晶パネルの縁取りが小さいME-386のようなバームトップパソコンに取り付けると、ランプユニットが液晶表示部分にかかってしまい、画面の一部を隠してしまうので適していない(写真8)。

また、ランプがむき出しになっており直接光が液晶に当たるようになっているが、せめてシェードくらい付けてほしかった(そのほうが高級感あるしね)。

光源はかなり強力なので、それこそ暗闇の中でもパソコンを操作することが可能だ。携帯することを考慮してつくられており、ランプユニットとバッテリーユニットとは、合体させてソフトケースに入れることができる。本体は中国製だ。なかなかのアイデア商品である。

Computer Floppy Lock

Computer Floppy Lockは、台湾のDEAN JANG ENTERPRISES CO., LTD.(注3)が発売している、コンピュータ用セキュリティグッズだ。

コンピュータの無断使用を防止するための製品としては、セキュリティ・カードなどをバス・スロットに挿入する方法が一般的であるが、今回ご紹介するComputer Floppy Lockは、その名のとおり、フロッピーディスクドライブに挿入し、キーロックをかけることによって、ドライブを使用できなくするための製品である。

Computer Floppy Lockは、3.5インチ用と5インチ用の2種類があり、価格は表1のとおりとなっている(写真9)。



写真9 Computer Floppy Lock(左が3.5インチ版、右が5インチ版)

表1 Computer Floppy Lockの価格

| | 品名 | 価格 |
|---------|-----|--------|
| 3.5インチ用 | 321 | 2.70ドル |
| 5インチ用 | 541 | 2.70ドル |

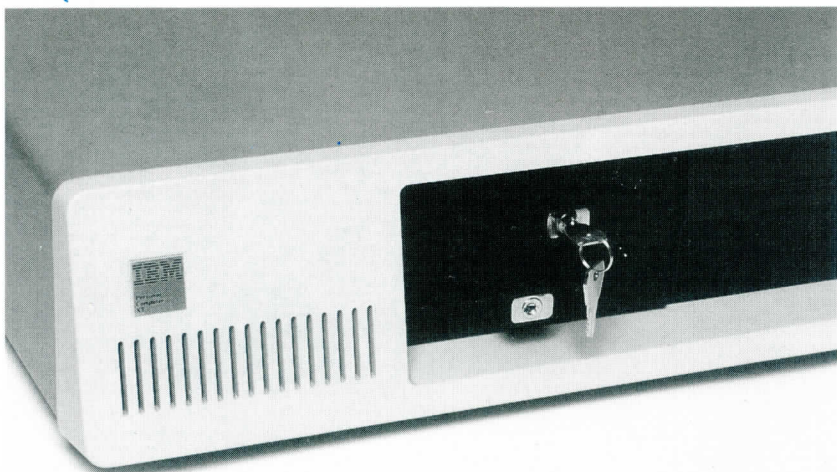


写真10 Computer Floppy Lockをパソコンに取り付けたところ(パソコン本体は、IBM PC/XTケースを使用した486マシン)

プロテクトの方法としては、セキュリティ・カードほど完全ではないが、コストは非常に安い。

使用方法は簡単で、フロッピーディスクドライブにComputer Floppy Lock本体を挿入し、鍵をかけるだけでよい。フロッピードライブ内部に止め金がかかり、鍵を外さない限り引き抜けなくなる(写真10)。

鍵の種類は500種類以上を用意しているため、同じ鍵に当たる可能性は低い。

フロッピードライブ以外にプロテクトをかける機能は持っていないが、HDD内のデータをFDにコピーして持ち出されたり、また外部からFD経由でウイルスを仕込まれたりする危険性は少なくなる。

▶ Pocket Liberator Palmtop Holster PL-PTH

HP100/200LX用のケースは、秋葉原のショップでも購入することができるが、ここで紹介するケースはちょっとぶっ飛んだ製品である。

Palmtop Holster PL-PTHは、その名のとおり、ピストルを入れておくホルスターの形をした、パームトップコンピュータ用ケースである。

ジャケットの下にこいつを忍ばせていれば、いつでもどこでもHP100/200LXを取り出すことができるが、格好が格好だけに、着用には若干の勇気が必要だ。また、筆者のように痩せ型の人間には、似合わない。映画に出てくるようなギャングのボスみたいに、腹が出た恰幅の良い人向けの商品である(写真11)。

ただし、昨今の東京では不用意にPalmtop HolsterからHPを取り出すような真似はやめたほうがいだろう。ピストルを取り出したと勘違いされる可能性があるからだ。

ニューヨークじゃあるまいし、いきなり撃ち殺されることもないだろうが、先日も、ISDNの公衆電話からHPで通信をしていたら、「それは法律に触れているのではないか」と酔っ払いにからまれた人がいたという。

購入先はNEW WORLD TECHNOLOGIES, INC. (注4)で、価格は99ドルであった。秋葉原では、オークビレッジ(注5)で同様の製品を見かけたことがあるので、ひよっとしたらもう着用している方がおられるかもしれない。



写真11 Palmtop Holster PL-PTHにHP200LXを入れて装着したところ

注3) DEAN JANG ENTERPRISES CO., LTD.

以下に連絡先を示す。
DEAN JANG ENTERPRISES CO., LTD.
台北縣板橋市信義路163巷1号3F
3F., No1, LANE 163, HSI-NYI RD., PANCHIAO CITY, TAIPEI HSIEN, TAIWAN, R.O.C.
TEL: 02-964-7466
FAX: 886-2-964-7277

注4) NEW WORLD TECHNOLOGIES, INC.

PSIONを専門に取り扱っている会社。以下に連絡先を示す。
NEW WORLD TECHNOLOGIES, INC.
TEL: 212-941-4633
FAX: 212-274-8527
EMAIL: COMPUERVE: 72360, 3653
AOL: JonathaneW
INTERNET: jonty@pipeline.com
ADDRESS: 110 Greene St., Suite 1100
New York, NY 10012
MAIL: New World Technologies, Inc.
532 La Guardia Place, Suite 150
New York, NY 10012

注5) オークビレッジ

秋葉原では名の知れた、輸入ゲーム専門店。IBMをはじめ、MacやAmigaのゲームも取り扱っている。JR秋葉原駅西口近くの大橋ビル6階にある。

ゲームソフトのほかに、ジョイスティックなどのアクセサリも扱っている。

略称オーク。